

おほゐ吟行句会（令和七年十月十八日）の作品

大海原ときを忘れる秋十月

加藤 春江

一望の海穏やかや天高し

高橋みどり

閑かさや神社の森に秋の声

中村 昌男

国府津浜海輝いて秋の風

中津川晴江

なつかしいことばと出会う秋の古社

原 仁子

波音の規則正しく秋の風

松良 榮美

撫で牛や耳なし目なし天神社

安池 利枝

秋うらら社の大樹魅了せり

二上 光子

小余こゆる綾ぎの潮騒尽きぬ浜や秋

横塚 昌平

丸き石こし方重ね秋の海

石井千代子

顛末を語る流木秋の浜

小野 菊土

椋の実の落ちて鎮守の通りやんせ

石井きよ子